

「運慶と仏～祈りの旅路～」 (2025年9月3日発売)

鎌倉時代初期、日本の彫刻史に新たな命を吹き込んだ仏師・運慶。力強く、写実的な造形は見るものを圧倒する迫力に満ちている。小誌では、東京国立博物館の特別展「運慶 祈りの空間—興福寺北円堂」開催にあわせて運慶の生涯と作品及び慶派などの紹介を通して、時代背景とともに現代に受け継がれる仏師の情熱について紐解きたい。特別展で展示される諸仏や、現地寺院での拝観ガイド、仏像鑑賞のポイントや研究の最前線など「運慶仏」の魅力を徹底紹介する。

▼巻頭特集 特別展「運慶 祈りの空間—興福寺北円堂」

興福寺に安置される運慶晩年の最高傑作が東京へ。
北円堂は通常非公開だが、弥勒如来坐像の修理完成を記念して、約60年ぶりの寺外公開が決定。
展覧会の見どころとともに、運慶の魅力を紐解きたい。

▼大特集 運慶仏巡礼 (巡礼マップ・アクセス・拝観情報付き)

奈良：興福寺／東大寺／円成寺
鎌倉：建長寺／常楽寺
京都：六波羅蜜寺など
静岡：願成就院など
※東大寺南大門の金剛力士立像をはじめ、運慶及び慶派が残した仏像をめぐる旅へ。



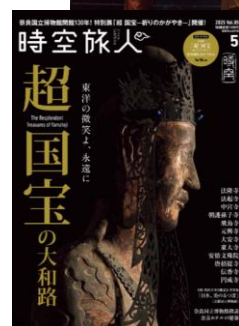
▼特集2 工房と弟子～運慶一門の仏脈～

運慶を中心とした慶派とはどのような仏師の一派だったのか。
快慶や康慶との関係や、子・湛慶のその後の活躍など知識欲を刺激する読み物としたい。
康慶 (運慶の父) …興福寺の不空検索観音像、四天王像、法相六祖像、
静岡瑞林寺の地藏菩薩坐像など
快慶…兵庫県浄土寺の阿弥陀三尊像、東大寺の僧形八幡神坐像、
石山寺の大日如来坐像、安倍文殊院の文殊菩薩など
湛慶…三十三間堂の千手観音像 (10号、20号、30号など)、高野山大門の仁王像



▼大コラム 見る、感じる仏像鑑賞術

目線や衣文・肉体美など仏像を鑑賞する際のポイントを紹介。
仏像の細部撮り下ろしなども。



※特集内容は変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

スペース	掲載料金	サイズ
表4	1,800,000 (税込1,980,000)	235×200 (天地mm×左右mm)
表2見開き	2,500,000 (税込1,650,000)	285×420 (天地mm×左右mm)
表3	1,400,000 (税込1,540,000)	285×210 (天地mm×左右mm)
目次対向	1,300,000 (税込1,430,000)	285×210 (天地mm×左右mm)
4CIP	1,100,000 (税込1,210,000)	285×210 (天地mm×左右mm)

- 発売日 : 2025年9月3日 (水)
- 発行形態 : 平綴じ／右開き
- 判型 : 112Pフルカラー・A4変型
- 定価 : 1500円 (税込)
- 発行発売 : 株式会社三栄
- オーダー締切 : 2025年8月13日 (水)
- 校了日 : 2025年8月20日 (水)

【お問合せ】株式会社三栄 第二営業企画局 Mail : koukoku@san-ei-corp.co.jp

～この企画に関するより詳しい内容・不明点は各担当者にご連絡下さい。～